

## (別紙 12)

## 大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社ブルー
実習期間	令和2年2月10日 ～ 令和2年2月17日
学生氏名	山口航志
実習プログラム	<p>2月10日（月）…朝礼、ミーティング、営業同行（焼豚屋、ピザ屋の内装、酒田米菓の案内場所のリメイク）、社内見学、青年部役員会同行</p> <p>2月12日（水）…ミーティング、営業同行（焼豚屋の内装、建築現場、カーテン取り付け）</p> <p>2月13日（木）…ミーティング、営業同行（手摺工事の打ち合わせ）ハラスメント研修</p> <p>2月14日（金）…ミーティング、営業同行（焼豚屋の内装、酒田米菓の案内場所のリメイク）、伝票記入</p> <p>2月17日（月）…ミーティング、営業同行（手摺工事、焼豚屋の内装、建築現場、黒森歌舞）</p>
学び・気づき （300字程度）	<p>社長が住宅の手すり工事の打ち合わせで他の介護用品のレンタルをしている会社の方も来ていた。手すりをつける位置の相談やつける際に必要な工事を説明等を行っていた。その際に、まずは工事をせずにレンタルの商品を試してみたら工事が必要なら工事をするというアイデアを提案していた。お客さまのことを会社の利益よりも優先していて、親身に寄り添い、丁寧に対応することを学べた。</p> <p>社長は、社員に対して、会社の収支などの実情を包み隠さずに話しているとおっしゃっていた。そのようにすることで、社員の意識も良い方向に向き、会社全体の雰囲気も良くなる。自分の会社の実情を知っている方が我が身として考えられる。また、そのような話ができるのも日頃から話がしやすい環境を作っているからだと感じた</p>
今後に向けた抱負 （200字程度）	<p>「話すときに笑わない」では、真面目な会話の内容の時も声に出ていると注意されたので日常的に気をつけていこうと思った。「根拠をもって意見を出す」は、レポートを作成したときにいわれたので、まとめを作成するときなどだけではなく普段から考えていきたい。「会話中に相手にかぶせない・聞き役に徹する」は、相手の言ったことに対して、知っていると言ったり、さらに違う話に変えてしまったりすると相手が話す気をそいでしまうので気をつけていきたい。相手が話しやすいように相槌などを工夫できるようにしていきたい。</p>

インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	私はインターンシップを通して人の温かさが魅力だと感じた。常にお客様や取引先のことを考え、相手のことを第1に考えていた。デザイン案を何の材料を用いて再現するかも念入りに考え打ち合わせをしていた。手間が増えてもいい仕事をしようとしていた。また、書の庵では、イベントを行ったり展示会を開催したりして住民の集まる場所となっていた。
写真 (1~3点)	 Three photographs showing interior design elements. The first photo on the left shows a desk area with a chair and a lamp. The middle photo shows a long wooden bench against a wall. The third photo on the right shows a display table with several small lanterns and informational cards.